

2019年(平成31年) 1月11日 金曜日

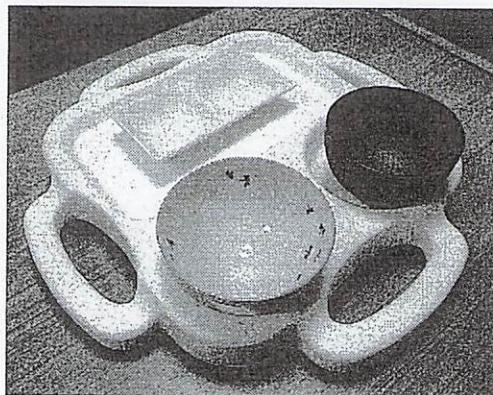
山口化成工業、まひ残っても食事しやすいトレー開発へ



梶包資材など発泡スチロール製品を手掛ける山口化成工業（本社豊川市）は、腕にまひが残っていても食事しやすいトレーの開発を進めている。トレーの底を回転させて食べたい料理を体の近くに寄せられるほか、一方向だけ回るようにして食器の縁を使えば片手で料理をすくいややすくする。看護科の女子高校生が考えたアイデアを活用した。（記事は5面に）

(記事は5面に)

一方向に回転するトレー開発



腕にまひが残っていても食事しやすいトレー
(写真は試作品)

山口化成工業

腕にまひ残つても
食事しやすく
宝陵高生の案活用

梶包（こんぽう） 資材など発泡スチロール製品を手掛ける山口化成工業（本社豊川市御津町、松倉利夫社長、電話0533・76-3105）は、腕にまひが残っていても食事しやすいトレーの開発を進めている。トレーの底を回転させて食べたい料理を体の近くに寄せられるほか、一方向だけ回るようにして食器の縁を使えば片手で料理をすくいやさしくする。看護科の女子高校生が考えたアイデアを活用した。2019年中に商品化する計画だ。（豊川・勝又佑記）

A black and white photograph of five young women, likely students, standing in a row. They are all wearing dark blazers over white collared shirts. The woman in the center is holding a framed certificate or award. The certificate has a decorative border and some text and logos on it, though the details are not clearly legible. They are all smiling at the camera.

アイデアを考えた宝塚高校の生徒

校（豊川市）衛生看護科の生徒が発案。同科の生徒は看護師を志望している。病院での実習中に車いす利用者や左腕にまひが残る高齢者が食事しにくい様子を見て、アイデアを考案した。ヒントにしたのは中華料理の回転テーブルという。発案したアイデアは、豊橋市の「高校生技術アワード」で入賞。豊橋市の第三セクター、サイエンス。

材想定利用者奥側に置
も、トレ
器を持た
寄せるこ
に向に回
せ、回転
ーンを動
スプレー
をすくう
て、今後
病院販売する

から見てトレーを回転させて、すくい取ることが可能。一度転する機能を持たない方向にスルが、おせば食器の縁で挟むように料用することができる。

クリエイトを通じて、山化成工業が商品化に取り組むことになった。